

数理解析研究所講究録546

保型形式シンポジウム

禁帯出期間

60. 2. 27— 3. -6

数研図書室

京都大学数理解析研究所

1985年1月

RIMS *Kokyuroku* 546

Symposium on Automorphic Forms



January, 1985

Research Institute for Mathematical Sciences

Kyoto University, Kyoto, Japan

は し が き

この講究録は、1984年10月1日から3日までの3日間、数理解析研究所において行なわれた研究集会の報告集であり、各講演者から集会後に提出された原稿を、講演の順にそのままコピー印刷して出来たものである。

この研究集会は、我国における保形形式論、特に多変数の保形形式およびその関連分野での最近の結果を紹介し合う目的で、佐武教授により提案され、清水英男・伊原信一郎の両氏を世話人として実現のほこびとなつた。集会の経費に関しては、数理解析研究所および、科学研究費総合A（代表、都筑俊郎氏）から補助をしていただいた。

集会は、3日間に16の講演という過密スケジュールであつたが、大変盛況で充実した内容であつた。これは本報告集の示す通りである。

最後に、研究集会の開催および講究録の作成に労力をさいて下さつた多くの方々、および御協力いただいた各方面に対して、こゝから謝意を表します。

1985年1月

橋本喜一郎

保型形式シンポジウム

研究集会報告集

1984年10月 1日～10月 3日

研究代表者 橋本 喜一郎 (Ki-ichiro Hashimoto)

目 次

1. $SU(2, 2)$ の Maass space について----- 1
東大・理 菅野 孝史 (Takashi Sugano)
2. アイゼンスタイン級数のフーリエ係数について----- 17
名大・理 北岡 良之 (Yoshiyuki Kitaoka)
3. $S_p(2, \mathbb{R})$ と $S_p(2)$ の保型形式の次元の比較----- 24
九大・教養 伊吹山 知義 (Tomoyoshi Ibukiyama)
早大・理工 橋本 喜一郎 (Ki-ichiro Hashimoto)
4. Differential Operators and Congruences for Siegel Modular
Forms of Degree Two ----- 51
東工大・理 佐藤 孝和 (Takakazu Satoh)
5. 総実代数体 (特に実 2 次体) のゼータ函数について----- 63
岐阜大・教育 畑田 一幸 (Kazuyuki Hatada)
6. Ankeny-Artin-Chowla 型の合同式について (純 4 次及び純 6 次体の場合) ----- 79
京大・理 亀井 真人 (Masato Kamei)
7. Hilbert modular form の trace formula 及び L- 関数の特殊値----- 93
東工大・理 高瀬 幸一 (Koichi Takase)
8. ジーゲル保型形式のフーリエ係数の積公式----- 110
長崎大・教養 小関 道夫 (Michio Ozeki)

9.	\mathfrak{p} 進体上の交代行列の空間における球関数	126
	立教大・理 佐藤 文広 (Fumihiro Sato)	
	信州大・理 広中 由美子 (Yumiko Hironaka)	
10.	一般化された超幾何関数について	138
	近畿大・理工 長岡 昇勇 (Shoyu Nagaoka)	
11.	$U(1, 2)$ と $U(3)$ における Hecke 作用素の跡の交代和	150
	東大・理 古関 春隆 (Harutaka Koseki)	
12.	重さ 1 の保型形式, 4 次剰余と楕円曲線	159
	阪府大・総合 石井 伸郎 (Noburo Ishii)	
13.	moonshine について	171
	名大・理 小池 正夫 (Masao Koike)	
14.	Harmonic forms, Eisenstein series and arithmetic quotients attached to Sp_4	186
	Bonn大 Joachim Schwermer	
15.	The action of Hecke operators on theta series	218
	京大・理 吉田 敬之 (Hiroyuki Yoshida)	